

各位

会社名 ナレッジスイート株式会社
 代表者名 代表取締役社長 稲葉 雄一
 (コード番号 3999 東証マザーズ)
 問合せ先 常務取締役 執行役員コーポレートビジネスユニット長 柳沢 貴志
 (TEL 03-5405-8120)

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年11月13日に公表いたしました2019年9月期(2018年10月1日~2019年9月30日)の業績予想と本日公表の決算値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年9月期連結業績予想値(2018年10月1日~2019年9月30日)と決算値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 2,202	百万円 60	百万円 52	百万円 138	円 銭 27.96
実績値(B)	2,159	66	61	18	3.72
増減額(B-A)	△43	6	9	△120	-
増減率(%)	△1.9%	9.1%	17.1%	△86.6%	-
(参考:連結) 前期実績 (2018年9月期)	967	48	43	59	12.57

(注) 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 差異の理由について

2019年9月期は、クラウドソリューション事業セグメントにおけるクラウドサービス(サブスクリプション)において、中堅・中小企業からの見込み顧客数は過去最大のペースで推移しておりますが、当連結会計年度(2019年4月)に発生した「Knowledge Suite(ナレッジスイート)」の大規模障害を起因とした解約の増加及び新規受注の先送りの影響に加え、その他ソリューションサービスの完了が一部先送りになったことから、売上高は前回予想を若干下回る結果となりました。

営業利益及び経常利益につきましては概ね前回予想通りとなりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、当期に連結子会社化したビクタス株式会社(現株式会社アーキテクトコア)における保険解約返戻金による特別利益を見込んでおりましたが、取込み時の受入価格の決定にあたり監査法人と協議を重ねた結果、公正価値評価され、のれん金額の減額計上とする変更になったことから、前回予想を下回る結果となりました。

以上